

令和 7 年度

佐賀市民意向調査

(これからの“まちづくり”に関する市民意向調査)

— ダイジェスト版 —

佐賀市では、『佐賀らしさでみんなが上を向くまち』という将来像を定め、この将来像を実現するために『第3次佐賀市総合計画』に基づいたまちづくりを進めているところです。

このアンケート調査は、第2次総合計画での「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施しています。

調査の概要

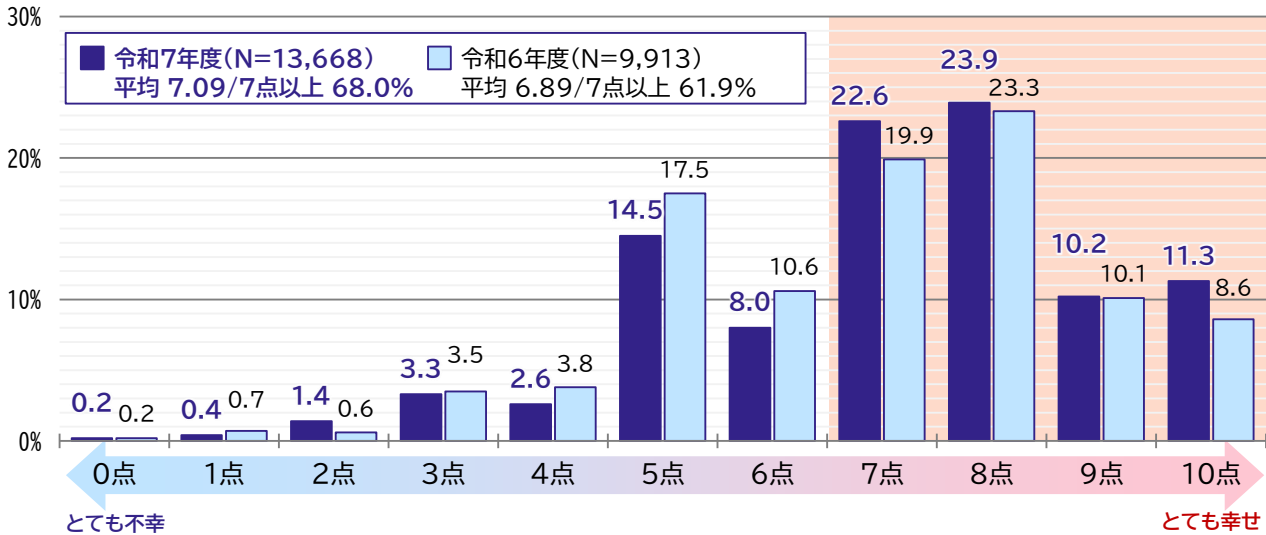
調査地域	佐賀市全域
調査対象	市内に居住する18歳以上
対象者数	2,500人
有効回収数	827サンプル（回収率33.1%）、補正後13,668サンプル※ ※調査結果は、旧市町村の人口規模に応じた補正係数を乗じた値を用いて作成されています。
抽出方法	旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	令和7年5月14（水）～ 5月30日（金）
調査項目	【問1】個人属性 【問2】暮らしやすさの実感 【問3】佐賀市への愛着 【問4】今後の居住予定 【問5】「幸福感」の現状 【問6】まちづくりに対する「意識」 【問7】まちづくりに対する「取組」 【問8】市の施策の「重要度」と取組に対する「満足度」 【問9】家事にかかる時間について 【問10】市政に対する自由意見

1

幸福感の現状

現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

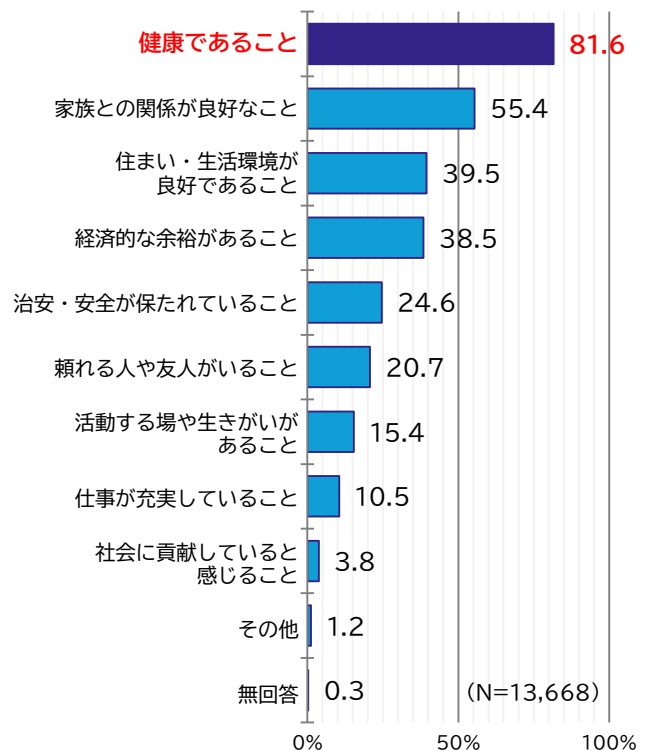
幸福感の現状



幸福感の平均値



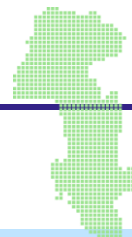
幸福感の重要点



- 幸福感の現状は、8点と答えた人の割合が最も高く、7点以上が約7割を占めています。
- 佐賀市全体の幸福感の平均値は7.09点で、令和6年度(6.89点)より高くなっています。
- 幸福感の平均値が最も高いのは、「20歳未満」であり、7.97点となっています。
- 幸福感の重要点は、「健康であること」「家族との関係が良好なこと」の回答が多くなっています。

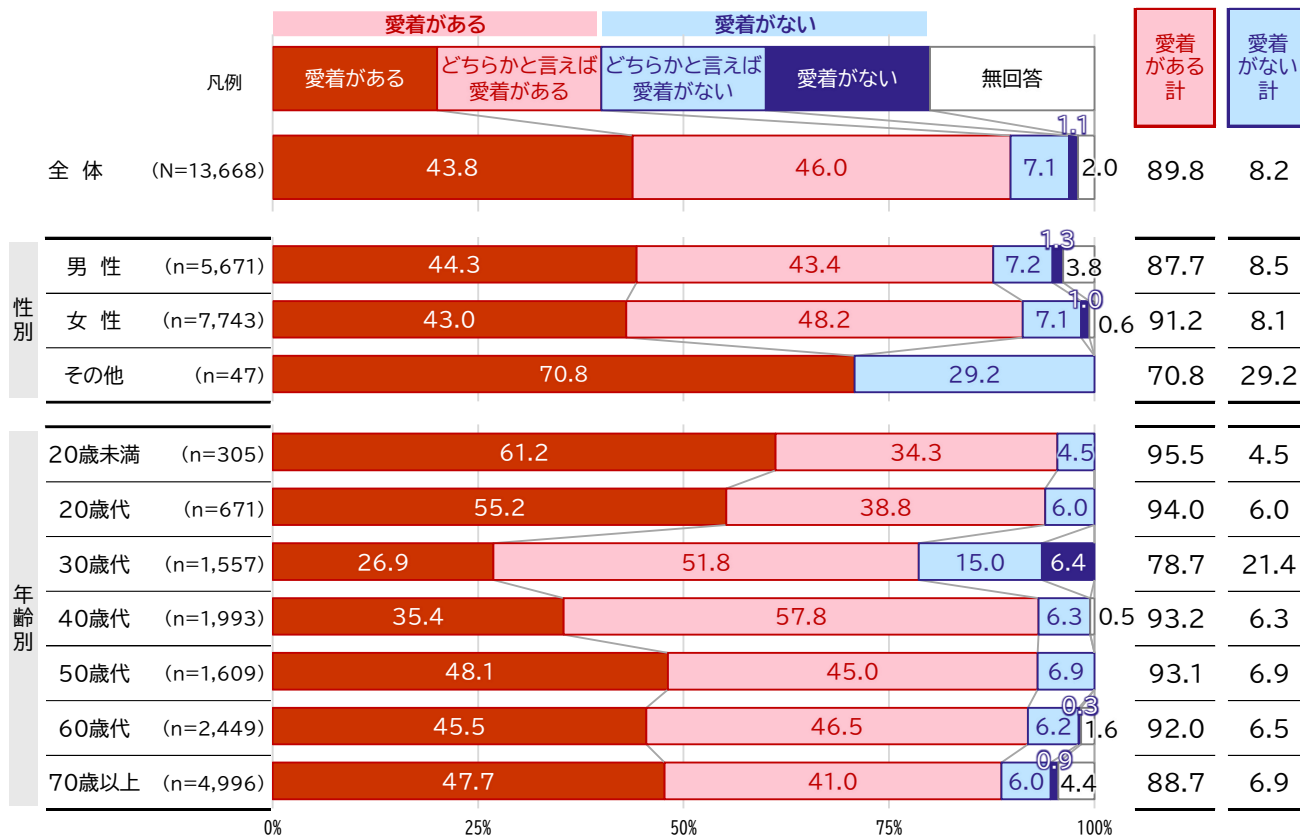


佐賀市への愛着

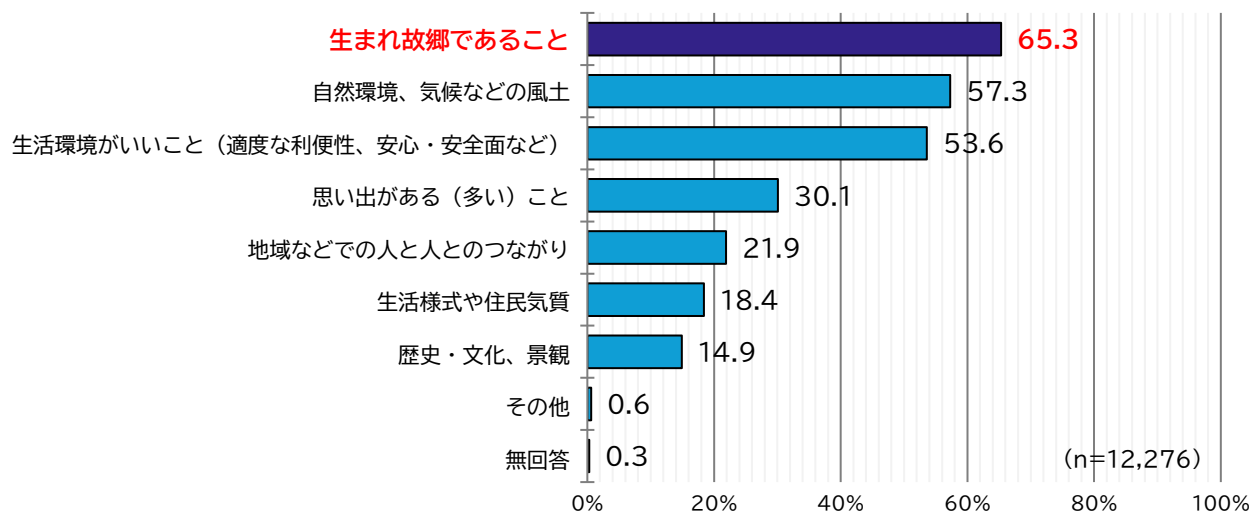


あなたは、佐賀市に対して愛着を持っていますか。

佐賀市への愛着



愛着を感じる点



- 佐賀市への愛着については、『愛着がある』と答えた人は約9割を占め、20歳未満(95.5%)の愛着度が最も高く、次いで20歳代(94.0%)となっています。
- 佐賀市に愛着を感じる点は「生まれ故郷であること」「自然環境、気候などの風土」「生活環境がいいこと(適度な利便性、安心・安全面など)」が上位にあげられています。



ポートフォリオ分析による

施策項目の優先性

あなたが感じている「重要度」および「現状の満足度」についてあてはまるものを選んでください。

ポートフォリオ分析とは...

縦軸と横軸を用いて
2つの指標を利用して
4象限に分けて
分析する手法

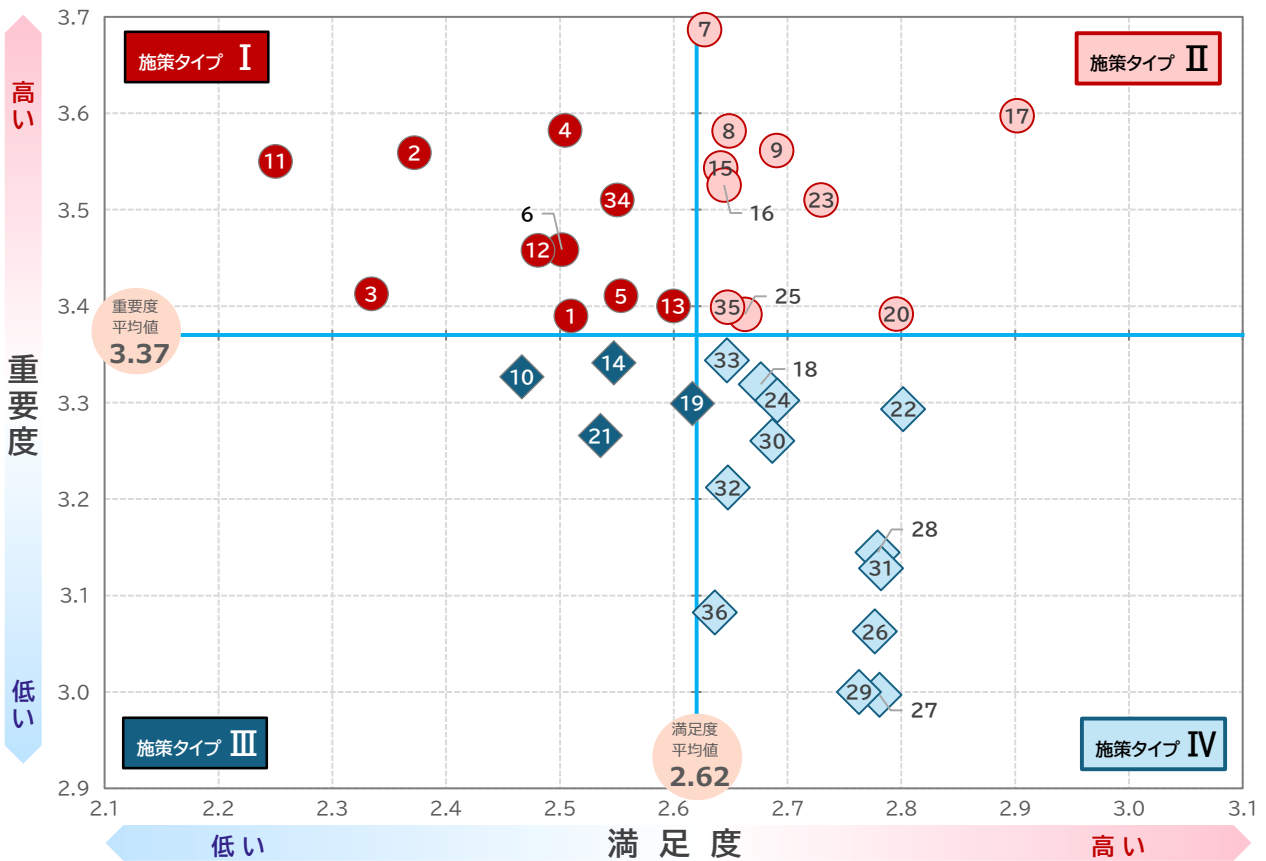
ポートフォリオ分析

- 【1】魅力ある観光の振興
- 【2】活力ある商工業の振興
- 【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化
- 【4】総合的な農業の振興
- 【5】森林保全と林業の振興
- 【6】特色ある水産業の振興
- 【11】市民生活を支える総合交通体系の確立
- 【12】道路ネットワークの充実
- 【13】安全で快適な住宅環境の充実
- 【34】財政の健全性の確保

- 【7】総合的な防災・危機管理対策の充実
- 【8】安全で美しい河川環境の適切な管理
- 【9】地域で守る生活者の安全確保
- 【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実
- 【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実
- 【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携
- 【20】持続可能な循環型社会の構築
- 【23】安心して子育てできる環境の充実
- 【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上
- 【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実

施策タイプ I 重要度 **高↑** 満足度 **低↓**
優先して改善を要する施策

施策タイプ II 重要度 **高↑** 満足度 **高↑**
現状の水準を維持する施策



施策タイプ III 重要度 **低↓** 満足度 **低↓**
現状維持またはあり方について
検討を要する施策

施策タイプ IV 重要度 **低↓** 満足度 **高↑**
改善の必要性が低い施策

- 【10】計画的な土地利用の推進
- 【14】互いに支え合う地域福祉の充実
- 【19】地球にやさしい低炭素社会の構築
- 【21】暮らしに身近な生活環境の向上

- 【18】自立を支える生活福祉の充実
- 【22】都市のみどりと美しい景観の創出
- 【24】就学前からの教育の充実
- 【26】自ら学ぶ生涯学習の推進
- 【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実
- 【28】未来につなげる文化の振興
- 【29】参加と協働によるまちづくり
- 【30】情報共有の推進
- 【31】人権尊重の確立
- 【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現
- 【33】効果的・効率的な行政経営の推進
- 【36】適正かつ効率的な議会活動への支援

ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

施策目標	重要度		満足度		施策タイプ
	得点	順位	得点	順位	
1 魅力ある観光の振興	3.39	20	2.51	29	I
2 活力ある商工業の振興	3.56	6	2.37	34	I
3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.41	14	2.33	35	I
4 総合的な農業の振興	3.58	3	2.50	30	I
5 森林保全と林業の振興	3.41	15	2.55	25	I
6 特色ある水産業の振興	3.46	12	2.50	31	I
7 総合的な防災・危機管理対策の充実	3.69	1	2.63	22	II
8 安全で美しい河川環境の適切な管理	3.58	4	2.65	15	II
9 地域で守る生活者の安全確保	3.56	5	2.69	11	II
10 計画的な土地利用の推進	3.33	23	2.47	33	III
11 市民生活を支える総合交通体系の確立	3.55	7	2.25	36	I
12 道路ネットワークの充実	3.46	13	2.48	32	I
13 安全で快適な住宅環境の充実	3.40	16	2.60	24	I
14 互いに支え合う地域福祉の充実	3.34	22	2.55	27	III
15 住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.54	8	2.64	20	II
16 共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.53	9	2.64	19	II
17 健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.60	2	2.90	1	II
18 自立を支える生活福祉の充実	3.32	24	2.68	13	IV
19 地球にやさしい低炭素社会の構築	3.30	26	2.62	23	III
20 持続可能な循環型社会の構築	3.39	18	2.80	3	II
21 暮らしに身近な生活環境の向上	3.27	28	2.54	28	III
22 都市のみどりと美しい景観の創出	3.29	27	2.80	2	IV
23 安心して子育てできる環境の充実	3.51	10	2.73	9	II
24 就学前からの教育の充実	3.30	25	2.69	10	IV
25 家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.39	19	2.66	14	II
26 自ら学ぶ生涯学習の推進	3.06	34	2.78	7	IV
27 誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.00	36	2.78	5	IV
28 未来につなげる文化の振興	3.14	31	2.78	6	IV
29 参加と協働によるまちづくり	3.00	35	2.76	8	IV
30 情報共有の推進	3.26	29	2.69	12	IV
31 人権尊重の確立	3.13	32	2.78	4	IV
32 個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.21	30	2.65	16	IV
33 効果的・効率的な行政経営の推進	3.34	21	2.65	18	IV
34 財政の健全性の確保	3.51	10	2.55	26	I
35 職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.40	17	2.65	17	II
36 適正かつ効率的な議会活動への支援	3.08	33	2.64	21	IV
平均値	3.37		2.62		

※ 順位付け、施策タイプ分けは端数処理を行っていない得点で算出している ■ 平均値以上、■ 平均値未満、赤字 上位3位まで



- 佐賀市が取り組んでいる施策について、その満足の度合いと重要さの度合いをたずねたところ、「施策タイプ I (優先して改善を要する施策)」にあげられる項目は、重要度でも上位の「**【11】市民生活を支える総合交通体系の確立**」や「**【2】活力ある商工業の振興**」など **10 項目**ありました。

4

施策項目の対策必要度

あなたが感じている「重要度」および「現状の満足度」について
あてはまるものを選んでください。

旧市町村ごとの施策項目の上位5施策

順位	1位	2位	3位	4位	5位	
佐賀市全体	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	4 総合的な農業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	
地区別	旧佐賀市	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	4 総合的な農業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実
	旧諸富町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	6 特色ある水産業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	2 活力ある商工業の振興	34 財政の健全性の確保
	旧大和町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	4 総合的な農業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	34 財政の健全性の確保
	旧富士町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	4 総合的な農業の振興	5 森林保全と林業の振興	2 活力ある商工業の振興	道路ネットワークの充実
	旧三瀬村	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	4 総合的な農業の振興	5 森林保全と林業の振興	道路ネットワークの充実
	旧川副町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	2 活力ある商工業の振興	6 特色ある水産業の振興	4 総合的な農業の振興
	旧東与賀町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	4 総合的な農業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	2 活力ある商工業の振興	道路ネットワークの充実
	旧久保田町	2 活力ある商工業の振興	4 総合的な農業の振興	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	6 特色ある水産業の振興

※ 順位付けについては端数処理を行っていない得点で算出している
佐賀市全体の上位5項目について、色付けしている

施策対策度の算出方法

対策必要度	=	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不満度</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足している</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば満足</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>不満である</td> <td>4点</td> </tr> </tbody> </table>	不満度	配点	満足している	1点	どちらかといえば満足	2点	どちらかといえば不満	3点	不満である	4点	×	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要度</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重要である</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>ある程度重要である</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>あまり重要ではない</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>重要ではない</td> <td>1点</td> </tr> </tbody> </table>	重要度	配点	重要である	4点	ある程度重要である	3点	あまり重要ではない	2点	重要ではない	1点
		不満度	配点																					
		満足している	1点																					
		どちらかといえば満足	2点																					
		どちらかといえば不満	3点																					
不満である	4点																							
重要度	配点																							
重要である	4点																							
ある程度重要である	3点																							
あまり重要ではない	2点																							
重要ではない	1点																							

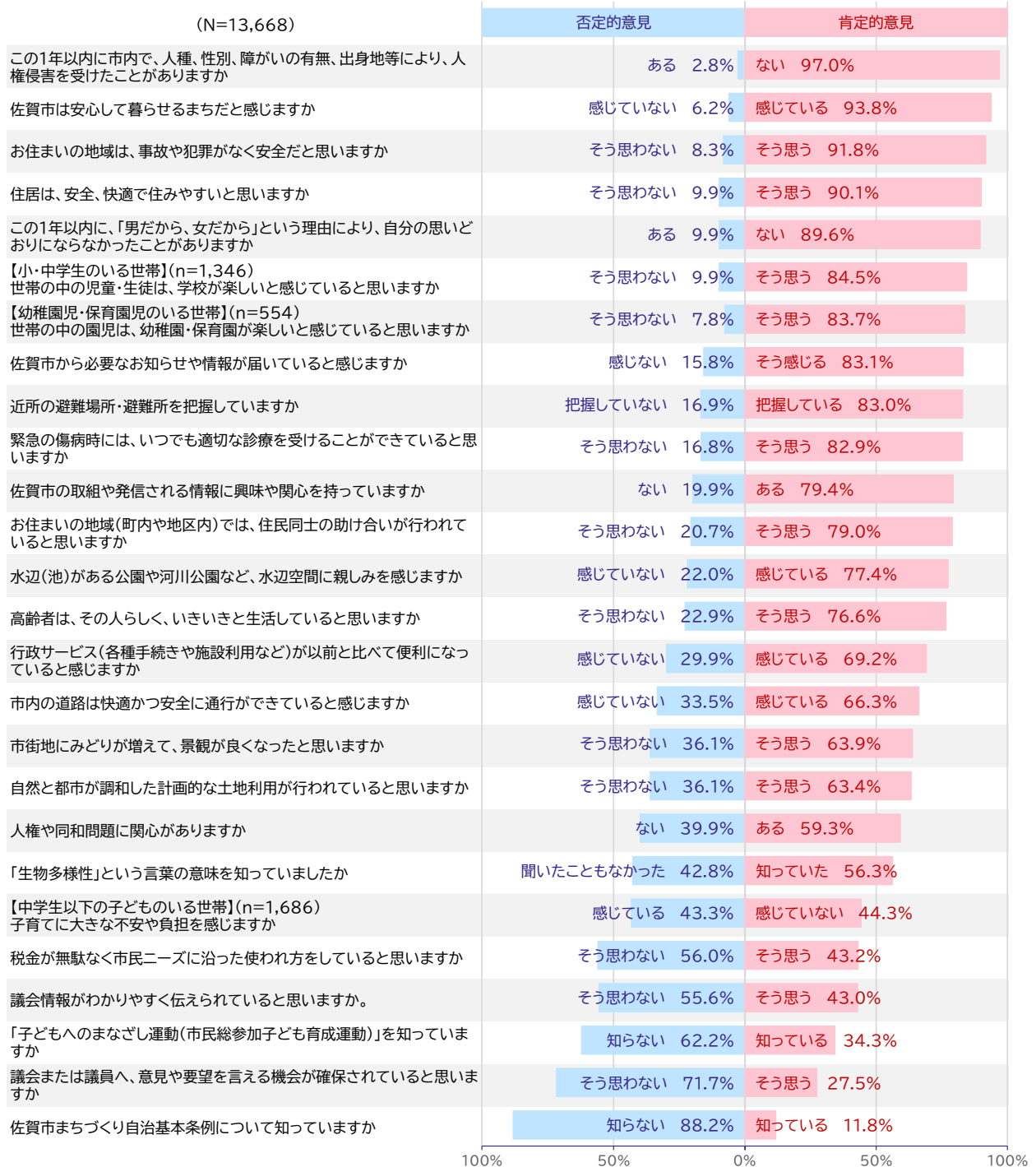
- 「重要度」と「満足度」をもとに対策の必要度合いを算出した結果、旧久保田町以外のすべての地区で「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」が1位となっており、旧久保田町は「【2】活力ある商工業の振興」が1位にあげられています。
- 2位は、旧佐賀市、旧大和町、旧三瀬村では「【2】活力ある商工業の振興」、旧富士町、旧東与賀町、旧久保田町では「【4】総合的な農業の振興」、旧諸富町では「【6】特色ある水産業の振興」、旧川副町では「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」となっています。

5

個人の「意識」

あなた個人の「意識」についておうかがいします。

個人の「意識」



※各設問、肯定計(肯定+やや肯定)、否定計(否定+やや否定)の値となっている



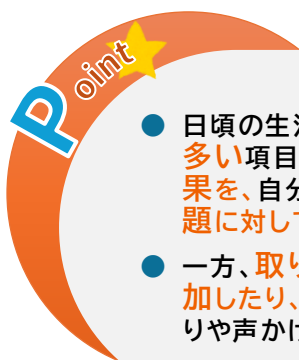
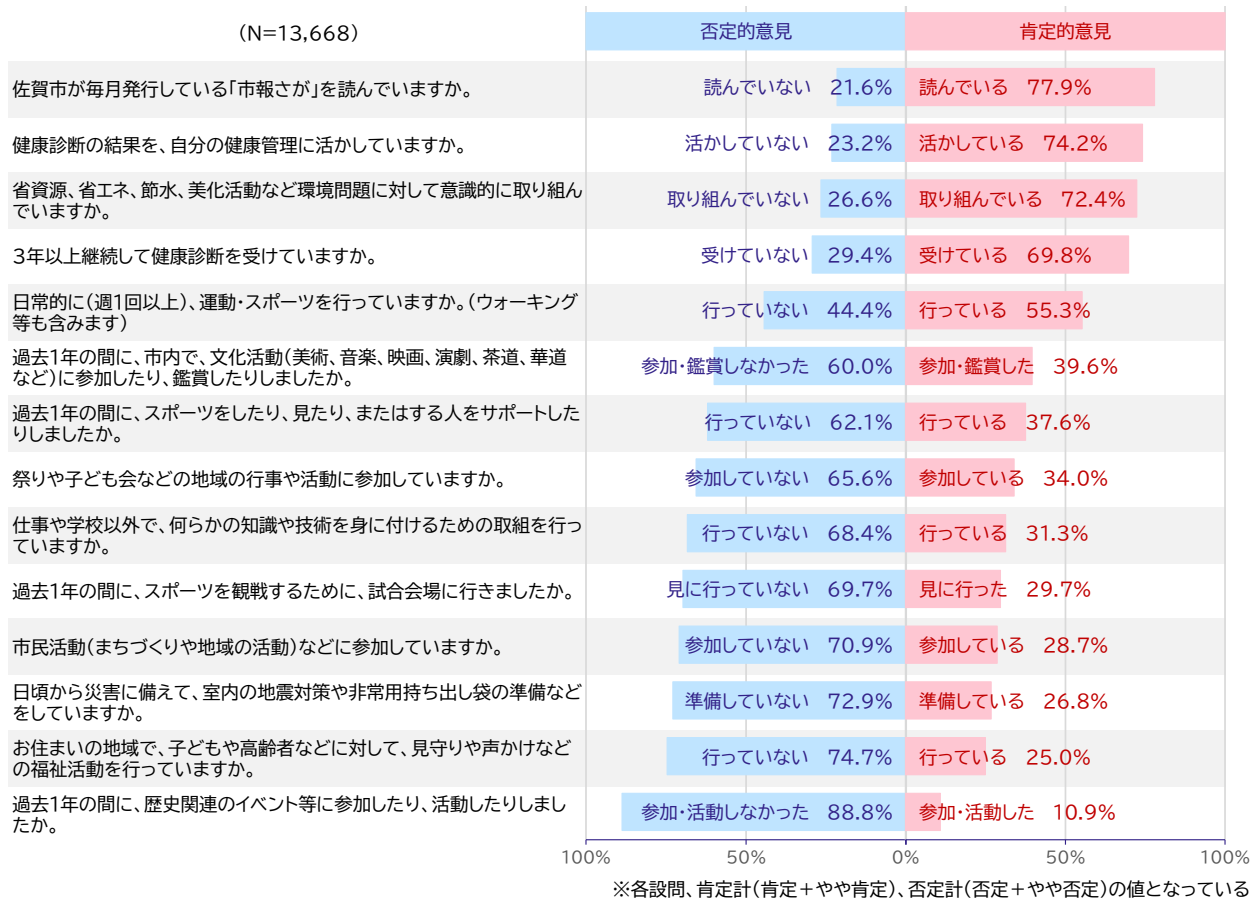
- 日頃の生活で、ご自身が感じていることについてたずねたところ、**肯定的意見の割合が高い項目は、「この1年以内に市内で、人種、性別、障がいの有無、出身地等により、人権侵害を受けたことがありますか」、「佐賀市は安心して暮らせるまちだと感じますか」**などでした。
- 一方、**肯定的意見の割合が最も低い項目は、「佐賀市まちづくり自治基本条例について知っていますか」**でした。



日頃の生活における「取組」

あなた個人の日頃の生活における「取組」についておうかがいします。

日頃の生活における「取組」



- 日頃の生活で、ご自身が取り組んでいる状況についてたずねたところ、**取り組んでいる人が多い項目は、「佐賀市が毎月発行している「市報さが」を読んでいますか」、「健康診断の結果を、自分の健康管理に活かしていますか」、「省資源、省エネ、節水、美化活動など環境問題に対して意識的に取り組んでいますか」**などでした。
- 一方、**取り組んでいる人が少ない項目は、「過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか」、「お住まいの地域で、子どもや高齢者などに対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか」**などでした。

令和7年度佐賀市民意向調査

(これからの“まちづくり”に関する市民意向調査)

-ダイジェスト版-

令和7年 9月

発行：佐賀市政策推進部 行政マネジメント課

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号

TEL:0952-40-7029

FAX:0952-40-7323